

令和5年度

越谷市環境白書

越谷市環境管理計画年次報告書



こしがやSDGsパートナー オリジナルロゴマーク

はじめに

越谷市は、多くの河川や用水路が流れ、古くから自然に恵まれていたことから、「水郷こしがや」と呼ばれてきました。江戸時代には日光街道第三の宿場町としてにぎわいをみせ、豊かな自然と歴史が融合したまちとして発展してまいりました。

本市では、公害の防止や、自然資源・快適環境の保全・創造を図るため、昭和58年に、全国の自治体に先駆けて「越谷市環境管理計画」を策定し、先導的に環境政策に取り組んでまいりました。

昨今の脱炭素をはじめ、プラスチック廃棄物処理、気候変動による気象災害など、新たな課題に対応するため、令和3年4月に、令和12年度までを計画期間とする新たな環境管理計画を策定いたしました。

令和3年4月26日には、埼玉県東南部地域5市1町（草加市・越谷市・三郷市・吉川市・松伏町）「ゼロカーボンシティ」共同宣言を行い、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを宣言しております。

その後、令和3年10月に、国は温室効果ガス排出量の削減目標値を46%削減へ変更する地域温暖化対策計画の改定を行いました。

本市においても、ゼロカーボンシティ実現に向け率先的に取り組むため、国の目標と照準を合わせ、「市域からの温室効果ガス排出量」の目標値を「26%削減」から「46%以上削減」へ変更する越谷市環境管理計画の改定を行いました。

今後も国・県のみならず、世界の動向についても注視しながら、越谷市環境管理計画に基づき、行政・市民・事業者の協働により、本市の環境施策を総合的・体系的に推進してまいります。

この「越谷市環境白書」は、このような環境分野全般の取り組みについて、令和4年度の実績をまとめるとともに、越谷市環境管理計画の年次報告書として、本市の環境施策の進捗状況を掲載しております。

本書が、多くの皆様に広く活用され、身近な環境に対してさらに関心を深めていただくとともに、環境に配慮した行動を実践する一助となれば幸いです。

令和5年10月

越谷市長 福田 晃

